

研究課題名：抜管後経鼻挿管チューブの汚染状況の調査と新規抗菌ジェルを用いた

汚染対策

研究責任者（所属・職位・氏名）：歯科麻酔学講座・教授・砂田勝久

分担研究者（所属・職位・氏名）：共同利用研究センター・教授・葛城 啓彰

：歯科麻酔・全身管理科・講師・篠原 健一郎

：歯科麻酔学講座・大学院生・秦 史子

1. 研究概要

1) 研究の意義：

口腔領域で全身麻酔下の外科手術を行う際、経鼻挿管チューブによる気管挿管を行う場合があります。鼻腔・咽頭部では黄色ブドウ球菌感染が危惧され、医療関連肺炎の発生において気管挿管時の挿管チューブの汚れが肺炎発生リスクを上昇させることが予想されます。抗菌作用のあるジェルを開発し、挿管チューブの汚染を抑制させ、医療関連肺炎の発生を減少させたいと考えています。

2) 研究の目的：

挿管時チューブに潤滑ゼリーを塗布し、チューブの操作性向上を図ることが多くありますが、潤滑ゼリーには抗菌作用が無いため、抜管後の経鼻挿管チューブの汚染状況を明らかにするとともに、その対策として抗菌活性のある新規抗菌ジェルを潤滑ゼリーの代用とし、経鼻挿管チューブの汚染防止法の開発に寄与することを目的とします。

2. 研究方法

1) 研究対象者：

倫理審査承認後から2027年3月に当院で経鼻挿管にて全身麻酔下の歯科治療または口腔外科手術を受けられた患者さん。

2) 研究期間：

倫理審査承認後から2027年3月31日まで。

3) 方法：

倫理審査承認後から2027年3月に当院で経鼻挿管にて全身麻酔下の歯科治療または口腔外科手術を受けられた方の抜管後挿管チューブを用いて汚染状況を検討します。

4) 使用する試料・情報の項目：

全身麻酔下の手術で使用した経鼻挿管チューブには個人が特定できる記載（氏名・住所・性別・年齢・身長・体重など）は無く、通常は抜管後に医療廃棄物として処分されます。そのため、もともと個人を特定できる要素はありません。今回、経鼻挿管に用いた挿管チューブを手術終了後、回収します。付着細菌の同定などを行う過程では、各抜管チューブに対し通し番号振り、患者番号、患者氏名、住所、連絡先などは取得せず、匿名加工情報とします。本研究への参加を希望されない場合は歯科麻酔学講座 砂田勝久 sunada@tky.ndu.ac.jp までご連絡ください。なお、本研究に参加されない場合でも不利益は一切生じません。また参加を取り下げることはいつでも可能です。

5) 情報の管理方法と保護：

文部科学省厚生労働省経済産業省が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和5年3月27日一部改訂）」を遵守して実施します。患者さんの個人情報取り扱いには十分に注意し、関連する法規制等を遵守して、漏洩、紛失、不用意または不用意な開示などが為されないように個人に関する情報を匿名化し、対応表を日本歯科大学生命歯学部歯科麻酔学講座内で施錠保管いたします。

3. 研究に関する本学の問い合わせ・連絡先

研究責任者

氏名：砂田勝久

連絡先：

日本歯科大学生命歯学部歯科麻酔学講座

東京都千代田区富士見町 1-9-20

電話 03-3261-8311（代表）